

西国巡礼慈悲の道

西国第十四番 長等山 園城寺(三井寺)

観音信仰の心

山主 福家英明



二宮尊徳翁は子供時代に僧侶が観音経を唱えているのを聞いて即座に、「このお経は観音様のような人になれ」といつているのだらう」といつて、僧を驚かしたといひます。なるほど、

宮尊徳の解釈もうなずける話です。

実際に観音様のような人になるのはなかなか至難のことですが、「法句経」の言葉にも人は良く整えられた己というものを得た時それが最上のよりどころとなるといひます。しかし、大乘仏教では観音経が人格を錬成するために、単に人として精進するに留まらず観音様をはじめ諸仏の信仰というものを勧めるのはなぜで

しょう。私は長年、西国十四番であります当山の観音様にお仕えしてまいりましたが、思うに人は近づこうとする存在には憧れを持つことが自然であります。たとえば身近な例でサッカー選手になりたい少年は好きなサッカー選手の写真などを部屋に貼るでしょう。これをみましても人は自分が憧れる存在やそうありたいという存在を外において近づこうとする性格があるように思うのです。私は同じように観音様に近づこうとしてお姿を拝む、家庭でも観音様のお御影を拝受して親しむ、あるいはお守りを持つ。それはそのような心が観音信仰の根底にあるからだと思います。

よしんば例え観音様のようになれなくても少しでも近づこう、あるいは観音様に喜んでもらえる人になろうというのが大切な心であるように思えるのであります。御開帳の折、ご本尊を拝みますと本当にあどけない童子のように無垢なお顔をしておられます。私自身も観音様のお顔を拝するたび、努めて心を無垢に保とうと心新たに思う次第です。



西国第十四番

おんじょう じ
長等山 園城寺(三井寺) 天台寺門宗総本山

御本尊／如意輪観世音菩薩 開基／大友与多王

いでいるや

なみ ま つき み いでら
波間の月を 三井寺の
かね みずうみ
鐘のひびきに あくる湖



✳ 主な年中行事 ✳

4月上旬～中旬 夜桜ライトアップ

(午後6時30分～9時30分。境内の約三千本の桜に
照明をあて幻想的な夜桜を満喫できます)

5月中旬土・日曜日 千団子祭

(護法善神堂。午前10時、ご本尊重文鬼子母善神像ご開帳法要)

7月22日 本山採灯大護摩供

(神変行者堂、午後2時)

10月29日 宗祖智証大師御正忌法要

(午前10時、唐院。この日のみ秘仏国宝智証大師像御開帳)

12月31日 除夜の鐘

(午後12時、参拝者に三井の晩鐘を撞いていただきます。)

観音風光

毎年五月の中旬の土・日曜日には、子どもの守り神「鬼子母神」を祀る護法善神堂において祭礼が行われます。このお祭は「千団子祭」と呼ばれ、串にさした千個の団子が供えられ、子どもの無事成長、安産を祈る人々で賑わいます。堂前の池では子どもの名前を書いた亀を流し、子どもの成長を祈る放生会も行われ、境内には植木市がなられます。

ご詠歌の意味

三井寺から大湖琵琶湖を見渡すと、月が波の間から出てまた波の間に入ります。こうした、いかにも大自然の雄大な景色にみとれて恍惚としているうちに最早夜明けとなって。三井寺から打ち出す鐘の響でぼおっと夜が明けて、湖上の眺めは何とも言いようのないよい景色です。

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町246

TEL 077-522-2238(代表)・524-2416(観音堂) <http://www.shiga-miidera.or.jp>

納経時間 午前8時～午後5時

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。